

# この人と

CDデビューした歌手

高森 有紀 さん



5月、「愛の誓い」ブライ  
ンド・ウィズ・ラブ」で念願  
のCDデビューを果たした。  
静岡市内のCD店では売り  
上げが演歌・歌謡曲部門で4  
か月連続1位。5月に故郷の  
焼津市で開いたコンサートに  
は1300人が詰めかけた。  
「何より歓声がうれしかった。  
デビューしてもまだ、与える  
ものより、もらうものの方が  
多いですね」

高校1年の時、進路希望に  
「エレクトーンの先生」と書

## 「全国で聴かせたい」

## ファンが後押し

くと、音楽の先生に呼び出さ  
れた。「歌ってみて下さい」。  
訳も分からずピアノに合わせ  
て声を出すと、「おもしろい  
声」と声楽に誘われた。以来、  
学校では歌のレッスン漬け。

授業以外は歌っていた思い出  
しがない。 東京の音大でクラシックを  
学んだ。卒業後も歌で生きる  
道を探して東京にとどまった  
が、思うような仕事がない。

「もうやめようかな」。情  
熱を失いかけて、焼津の実家へ  
戻った。  
転機は半年後に訪れた。知  
人から「テイサービス」のボラ  
ンティアで、お年寄りの前で

が、友人や歌を聴いた人たち  
が後援会を作って支えてくれ  
た。「たくさんの方が手をさ  
しのべてくれた。だから今が  
ある」という思いは強い。  
「全国の人に有紀ちゃんの  
歌を聴いてほしい」というフ  
ァンの声が届き、東京のプロ  
ダクションと契約、デビュー  
が決まった。

正真正銘のプロとなり、歌  
への向き合い方も大きく変わ  
った。「ボランティアの時は  
必ず聞いてくれる人がいた。  
今は気に入ってもらわなけれ  
ば、誰も聞いてくれない。真  
剣勝負です」。2時間のコン  
サートを歌いきるため、体力  
づくりに取り組み始めた。

歌わないか」と誘われた。歌  
うのはクラシックではなく、  
お年寄りが喜ぶ童謡だった。  
「赤とんぼ」「七つの子」。  
口ずさむと、幼いころ、母が  
歌って聞かせてくれた記憶が  
よみがえった。「もう一回や  
ってみようかな」。歌で生き  
ていく勇気がわいてきた。

幼稚園や小中学校、介護施  
設などで年40〜50回歌い続け  
て10年。歌のレッスンや歌手  
活動で収入を得ながらのボラ  
ンティアは、楽ではなかった

### プロフィール

旧清水市生まれ、焼津市で育つ。国  
立音大音楽科卒。1995年から10年間、  
学校や福祉施設で童謡を歌う活動を続

ける。これまでにシングル1枚、アル  
バム2枚をリリース。現在、東京を拠  
点に歌手活動の傍ら、焼津でコーラ  
スグループや個人の歌の指導も行っ  
ている。